

～災害時の避難行動に活用してください～

洪水・土砂災害

ハザードマップを配布します



市HP関連ページ

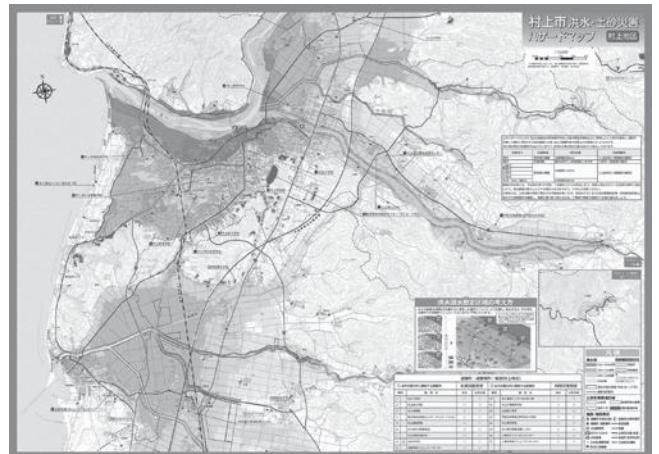
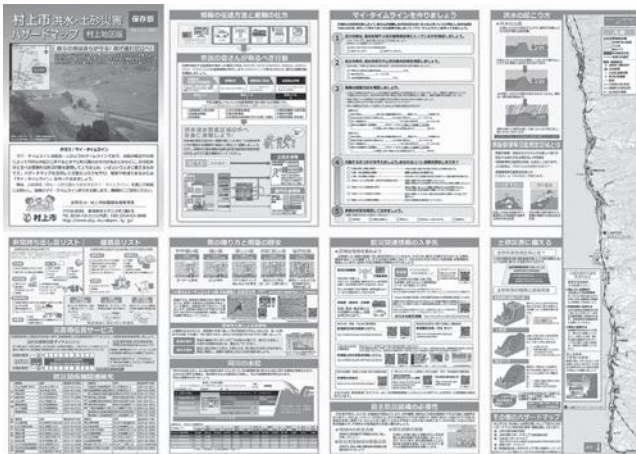
●問い合わせ
総務課危機管理室
☎53-2111
(内線3140～3142)

近年の水災害の局地化、集中化、激甚化を背景に水防法が改正され、国や県では100年に1度程度の大雨を想定した洪水浸水想定区域を作成し順次公表しています。

また、県により市内の土砂災害警戒区域などが平成29年4月までに指定・公表されています。

市ではこれらに基づき、洪水・土砂災害ハザードマップを更新し、今回の市報と一緒に市民の皆さんに配布します。

ハザードマップは「知る」「学ぶ」「備える」の3つ要素で構成しています。



村上地域のハザードマップ



「知る」

皆さんが暮らしている地域にどのような災害のリスクが有るのか確認する。



「学ぶ」

災害の起こり方、市が発する避難情報などの意味や避難行動のための情報収集方法を学ぶ。



「備える」

自らマイ・タイムラインを作成し、災害時あるいは災害の恐れがあるときに、自発的に適切なタイミングで適切な避難行動を取れるよう備える。

皆さん一人一人が「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自らの判断で避難行動を取ることができるように備えておくことが必要です。

また、より理解を深めていただくため、市では新たに出前講座「洪水・土砂災害から命を守るマイ・タイムライン」を準備しました。ぜひご利用ください。

■住民説明会および出前講座について

市では、ハザードマップ配布とともに住民説明会および出前講座の開始を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、当面の間、延期します。

皆さんのご理解とご協力をお願いします。

●出前講座新メニュー

ハザードマップの配布と合わせて新しい出前講座「洪水・土砂災害から命を守るマイ・タイムライン」ができました

■マイ・タイムラインとは

住民一人一人のタイムラインであり、台風の接近や大雨によって河川の水位が上昇するときや土砂災害の恐れがあるときなどに、自分自身がとるべき標準的な防災行動を整理してまとめ、いざというときに備えるものです。

■マイ・タイムラインの作成の流れ

- ①お住まいの地域の洪水や土砂災害のリスクを確認する。
- ②情報の収集方法を確認する。
- ③マイ・タイムラインを作成する。